

# SS 探究ⅡB:地域探究講座

## 第1回 長崎街道インフラさるく in 大村

5月19日(木)、「第1回 長崎街道インフラさるく in 大村」を開催しました。これは本校と鎮西学院大学のコラボ事業で、地域にあるさまざまなインフラを通して、自らを取り巻く多様な社会や環境を知り、それらとの主体的なかかわり方を実践的に学ぶことを目的としたものです。

最初に、長崎大学工学研究科の出水 享 氏より「インフラの見方、守り方」についての講義を頂きました。Zoomでの講義でしたが、先生の巧みな話術に生徒はどんどん引き込まれていきました。「土木とはやさしさを形に変える仕事だ」というフレーズがとても印象に残りました。

続いて鎮西学院大学現代社会学部教授の磯本 光広 氏より「AI・データサイエンス教育と課題探求」と題した講義を頂きました。データサイエンスの素養はすべての生徒に必要であるということ、表れた数値の意味を考えることが大切であることなどをわかりやすく説明していただきました。課題探究を進める際にはいつでも思い出して欲しいと思います。

最後に鎮西学院大学基盤教育センター教授の吉野 浩司 氏のご指導のもと、①観光、②橋・道・建物、③歴史・文化、④環境・防災の4つの班を編制しました。今後は班でアイデアを出し合って探究を進めていく予定です。

